

## EMEが追い求めるのは、ワクワクする企業です

### 【EMEが追い求めるのは、ワクワクする企業です。】

EMEが追い求める「ワクワクする企業」とは、どのような企業なのでしょう。

#### ◎ ワクワクする企業とは、会社にも、社員にも夢のある企業です。

ワクワクする企業では、会社も社員も、夢の「見える化」をして、日々、実現に向けた取り組みをしています。そして、自分の夢を大切にする以上に、相手の夢を大切にしています。相手の夢を大切にすることから、自分の夢も大切にしてもらえるようになるのです。

#### ◎ ワクワクする企業とは、夢と夢が融合して、大きな付加価値を生む企業です。

夢と夢が融合する場は、自由に自分の想いを発言できる「安心の場」です。ワクワクする企業では、お互いが自由に発言することによって対話が生まれ、「安心の場」に集う仲間の気づきから、大きな付加価値が生まれるのです。

#### ◎ ワクワクする企業とは、社会から尊敬される企業です。

大きな付加価値は、決して自社だけの成果ではありません。ワクワクする企業では、会社も社員も、社会との関係を認識しています。従って、自社の付加価値を社会に還元して、社会に貢献する企業となるのです。

## EMEが追い求めるのは、ワクワクする企業です

そして、ワクワクする企業には、

- ◇ 夢を“見える化”する「夢追い人」の経営者がいます。
- ◇ 自由に対話できる「安心の場」の企業文化があります。
- ◇ 自分の可能性を信じて、「価値創造」する人財がいます。
- ◇ 競合他社が“参った”という「独自能力」としての仕組みがあります。
- ◇ 企業の取り組みを評価する「信頼関係」の強い市場・顧客があります。

従って、ワクワクする企業は、

- 社会から認められて、儲け続けられる企業です。

そして、

- 企業という場集う、一人一人が、物心ともに豊かになれる企業です。

## EMEが追い求めるのは、ワクワクする企業です

**【ワクワクする企業には、夢を“見える化”する「夢追い人」の経営者がいます。】**

◎ ワクワクする企業の経営者は、自分の価値観を持った「夢追い人」です。

ワクワクする経営者は、自分の価値観をしっかり持っていて、判断基準がシンプルです。その一方で、ワクワクする夢を追いかける「夢追い人」、決して諦めません。そして、自分の価値観や夢を社員と共有するために、一人一人の社員に語りかけています。

◎ ワクワクする企業の経営者は、「知らない」ことを知っています。

夢を追いかけるから、「知らない」ことが溢れてきます、探究心の源です。その一方で、ワクワクする経営者は、自分の気づかない「自分」に敏感です。だからこそ、社内・社外に、自己陶酔をチェックする仕組みを持っています。

◎ ワクワクする企業の経営者は、パートナーを尊重しています

経営者一人では、新しい価値を創造することはできません。ワクワクする経営者は、パートナーを尊重しています。特に、社員に対しては、価値創造の最も重要なパートナーとして、一人一人の社員の人間性を尊重しています。

## EMEが追い求めるのは、ワクワクする企業です

【ワクワクする企業には、自由に対話できる「安心の場」の企業文化があります。】

### ◎ ワクワクする企業の企業文化は、相手を認める企業文化です。

ワクワクする企業の企業文化は、①相手の存在、②相手の行動、③相手の成果 を認めます。そして、感謝すること、褒めることが得意な企業文化です。相手の問題点に対しては、相手の存在を否定せずに、相手の行動や仕事への姿勢を正します。

### ◎ ワクワクする企業の企業文化は、チャレンジすることが普通となっています。

ワクワクする企業の企業文化では、「チャレンジすること」が善、「過去の踏襲」は悪、という価値観を持っています。チャレンジを認めることから、新しい価値を創造します。さらに、失敗することよりも、失敗から学ぶことを大切にしています。

### ◎ ワクワクする企業の企業文化は、「安心の場」を提供します

「安心の場」は、①発言の質より量を評価する、②相手を批判しない、③意見と質問しか言わない（評論家的な発言をしない） というルールから生まれます。ワクワクする企業の企業文化は、「安心の場」によって、対話を楽しむ文化です。

## EMEが追い求めるのは、ワクワクする企業です

**【ワクワクする企業には、自分の可能性を信じて、「価値創造」する人財がいます。】**

### ◎ ワクワクする企業の人財は、自分の可能性を信じています

ワクワクする人財は、自分の可能性を信じるとともに、自分の価値を追求しています。自己開示能力が高く、「知らない」ことがあることを、大切なことだと考えています。他人の意見や質問に、積極的に耳を傾け、自分の考え方・姿勢・行動を進化させていきます。

### ◎ ワクワクする企業の人財は、常に当事者意識を持って行動しています。

ワクワクする人財は、自ら目標を設定して、自分の意思で行動する主体者です。既成概念に対して、常に懐疑的であり、小さな実験から、新しい価値を発見します。目的・目標を実現するために、自分の役割・相手の立場を考えて行動します。

### ◎ ワクワクする企業の人財は、チームによる付加価値の創造者です。

ワクワクする人財は、主体的に発言し、また、相手の話を聴くことで、付加価値を生むと考えており、相手との対話ができる人財です。社内外のネットワークでは、全体最適のために、相手への支援を優先して、「情けは人のためならず」を実践しています。

## EMEが追い求めるのは、ワクワクする企業です

**【ワクワクする企業には、競合他社が“参った”という「独自能力」としての仕組みがあります。】**

### ◎ ワクワクする企業の仕組みには、独自性があります。

競合他社に、「まいった」と言わせる独自性があります。ワクワクする仕組みは、競合他社が真似のできない考え方や認識に基づいて、社員が一丸となって創り出す、我社しかできない仕組みです。

### ◎ ワクワクする企業の仕組みは、付加価値を自己増殖します

ワクワクする仕組みは、後工程を顧客と考えています。後工程をつないでいくと、社外の顧客に繋がると考えているからです。さらに、全体最適に基づき、社員が支援的な活動(相手のために、自らの行動を修正する活動)を行うことによって、付加価値を自己増殖します。

### ◎ ワクワクする企業の仕組みは、人財を育てます

ワクワクする仕組みは「見える化」されていて、全員が共有しています。さらに、小さな実験を繰り返し、学習することによって、新たな仕組みを生み出します。結果、付加価値を増殖する新たな仕組みは、社員に対して新たな能力を要求して、人財を育てます。

## EMEが追い求めるのは、ワクワクする企業です

【ワクワクする企業には、企業の取り組みを評価する「信頼関係」の強い市場・顧客があります。】

### ◎ ワクワクする企業の顧客も、ワクワクする夢を追いかけています

ワクワクする企業は、積極的に夢を開示します。その夢に、共感していただける顧客は、自社と同様に、ワクワクする夢を追いかけています。夢と夢が融合するとき、新たなビジネスチャンスが生まれ、新しいビジネスモデルや商品が開発されるのです。

### ◎ ワクワクする企業の顧客は、ともに成長するパートナーです

苦情は顧客からの贈り物。厳しい要望・期待・苦情であればあるほど、会社に対する期待値の表れです。ワクワクする企業は、積極的に顧客の声に耳を傾け、要望・期待・苦情に対して真摯に対応することによって、顧客とともに成長する絆を強くしています。

### ◎ ワクワクする企業は市場に対して、提供する顧客価値が明確です

企業は市場・顧客に選ばれることによって成り立っています。一方で、すべての市場・顧客の要望に応えることはできません。従って、ワクワクする企業では、自らの市場・顧客を選別しています。選別した市場・顧客に対して、最高の顧客価値を提供しています。